



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

7月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

rniniUSA711@gmail.com

2016年(平成28年) 7月1日(金)

NO. 179

倫理文化講演会

和やかに成功

五月十五日(日)午後一時三十分、ホリデーイン・トーレンスで行われた。プログラムの最初は「第十一回しきなみ子供短歌コンクール」入賞者表彰式。

当地アメリカから佳作に選ばれた三名、古宮沙羅さん、小澤恵美莉さん、高橋泰善さん、それぞれの短歌を紹介したのち、伏木国際事業部部长より表彰状を授与。受賞者へのインタビュは素直な詠みぶりと子供らしい応答に会場が和んだ。三名が伏木部長と記念撮影に収まる。

続いて講演が始まる。講師は伏木久登国際事業部部长。演題は「いのち」を輝かせていきる。テーマは4つ。

1 いつまでも「いのち」を輝かせる!

そのひとつめのヒントを倫理USA会員のホン史子さんの実践・体験報告から探った。ホンさんは五十五歳で一念発起し、介護ヘルパーの資格を取得。勤務先の老人介護施設で出会った気難しい女性、ベレナさんの美点を探すことで気持ちを通じ合わせた

五年間の体験を発表。短所と長所は表裏一体という気付きから、「美点探し」を決意。「ベレナはいい人である。」という結論に行き着いたとき関係は一転。ふたりの心の交流はベレナさんが転院するまで続いた。変わったのは自身であり、自分が変われば相手が変わるというまさに倫理の実践の王道であった。壇上でのホンさんは歯切れよく、豊かな表現力でその内容と共に聴衆を魅了。

続いて伏木部長より、八十歳から始めた水泳で数々の日本記録並びに世界記録を樹立してきた長岡三重子さんを、DVDのダイジェスト版で紹介。

ホンさんと長岡さんの共通点。①まず行動し、自分自身を表現する。②心が外向きになり、明るくなる。③「いのち」が輝きます。

2 むすびが「いのち」を輝かせる

むすびとは陰と陽の関係にある男女が夫婦となって結ばれることで、新しい生命が誕生し、夫婦のきずなが強くなり、生命力が高まり「いのち」が輝いてくる。また、脳

内ホルモンのオキシトシン効果で仲が良い夫婦ほど共に長生きであり、その効果は心の向けかたを外向きに変え、積極的に人との交流を持つこと、そして人の役に立ち、喜ばれる自分になることでさらに発揮される。むすびの日常実践としては、明るい「ハイ!」の返事、自分から挨拶、そして家族に喜ばれることの3つ。

3 「いのち」の根源にスイッチを入れる。

自分を作っている根源と自分を統合させると、「いのち」のスイッチが入り、輝きの度合いが増す。具体的日常生活としては、親を大切にす、祖先を大切にす、そして社会と社会を構成する人々を大切にす。この3つ。

4 いのちが「輝く」ために喜び(光)も悲しみ(影)も、苦(影)も楽(光)も、人生に起こる出来事をそのまま前向きに受け止め続けた、その「いのち」は自ら輝きを放つ。

講演の中に実践体験報告を組み込んだ演出と、伏木部長

の時折混じるやわらかな京都弁、さらに身近なたとえを取り入れたわかりやすい講話は、出席者のみなさんにたいへん好評であった。

引き続き尾崎よしみさんによる倫理USAの活動報告と図書紹介ののち、閉会。

出席者は当初の予定を上回る一三八名。会員の地道なお誘いが嬉しい結果となった。今回は講演会後に会員と非会員の交流を深める歓談の時間を長めに設定。図書の売り上げも例年になく好調。来年度へ向けて前進あるのみと、倫理普及を会員全員で誓い合った。

(参加者一三八名)
(伊澤潤子記)



朝の講話

五月十五日(日) 午前八時半より九時半まで、伏木久登国際事業部部长により、『葉』第六条、子女名優を学びました。

私たちは、自分が正しいことをしているか、していないかわからない。そんな時、自分を取り巻くものを見てみると、自分がやっていることがわかる。また、子供を持っている人は、子供を見るとわかる。

子供が第二反抗期に入ってくると、自分の意思を出し始める。これは、反抗期ではなく成長期である。子供は皆、神の子である。親は縁があつて預かっているだけであり、嫉は、しなければいけないが、押さえつけるのはよくない。

伏木先生はここで一つの例を出されて話しました。六年間もうまくいかないセールスマンの青年がいて倫理に出会い、働く(傍を楽にする)ことを学ぶ。仕事というものは、営業するだけでなく、清掃もそうだし、自分の生活もそうである。自分の立場からだけものを言うのでは

なく、相手の立場になつて、考える、相談する。以前は、自分の思いだけを押し付けているだけであつたが、営業につながるものでも、地道にやってみれば、おてんとうさまは見えている。

我々は人を相手にして生きていく。だが、おてんとうさまと自分自身は、どうなんだ。自分が倫理的反応で、成長しているかどうか。いくつになつてもバールジョンアップしていかなければいけない。自分を一步も二歩も捨てて周りに合わせていけるように。周りには、たくさんの先生がいる。自分を取り巻くすべての事に、教えられている。

家庭の三悪追放

一、汚職

夫婦間で、偽つてお金をごまかす。知らない顔をして、自分の身内にお金を送ったり、自分のへそくりにしてしまう。夫のために、家族のために、不慮の事故に備えてというが、それは、不幸を待ち望んでいるということになる。夫婦間で、話すといひけれど、自分だけでするのはよくない。こつそり行うの

は、良くない。これは、悪いと認識していない。

二、貧乏

家庭の貧乏を追放するには、収入の何分の一かは、貯金して余つたお金で暮らしていく。困つたことがあつても貯金に手を付けない。

“要物必与” 収入が多くない

のがいい。多いと、よからぬ事に使つてしまう。必要最小限が良い。今ある分が、ちょうどいいと思つて暮らす。貧乏を嫌がらず、心を明るく、楽しく働くことが、幸福に恵まれるものになる。

三、暴力

腕力的なものだけでなく、精神的なものもそうである。責め心。相手が悪いことをすれば、こちらもやればいいとするとだめ。幼い子供が、いたずらをすする。これは、学んでいる、実験しているのである。それを、親の思いで、やめなさいと言うのであり、子供を怒つて責めても離れて行くだけである。大事なところは、見えないところにあります。三悪を、排除して、家庭を円

満にしていきましょう。一人一人が持ち合つている個性をさらにのびやかに発揮される家庭を作つていくことを目指していきましょう。

(出席者二十四名)

(尾崎勝宏記)

懇親会

五月十五日(日) 午後五時半から入船レストランに於いて、講演会後の打ち上げ懇親会が、伏木久登国際事業部部长を交えて行われました。

練りにねつて迎えた講演会には皆さんの熱い賜物です。無事にも変えがたい安堵と開放感。それと共においしい味が身体全体に染み渡り、新たな意欲になげられるような、楽しい食事会でこの一日を締めくくりました。(出席者三十七名) (氏家正子記)

図書販売

今年の新刊書『「いのち」の輝き』を主に三十三冊を販売、売上げ三百五十二ドルでした。

四方東 西南北

南カリフォルニア 香山幸子
1席 香山 幸子

穏やかな線質でのびやかな作品。

四方東 西南北

南カリフォルニア 小倉治望
5席 小倉 治望

四方東 西南北

南カリフォルニア 井上郷子
7席 井上 郷子

文化講演会反省会

五月二十二日の朝の集いで行
いました。

入場者数が百三十八名と予想
を上回る成果となりました。こ
れは十分な準備の積み重ねと、

会員の心がひとつにまとまった
結果です。

配置では、受付の机を先に、
図書販売の机を次ぎに並べたの
でお客様の流れがよくなりまし
た。椅子は五脚毎に通り道を開
けたので楽に座れました。

講演終了後に文化部の展示作
品を観ていただく時間を十分に
とつたのは良かったです。

尾崎普及部長から、「お誘い
をして、来て下さった方には早
めにお礼の電話、メール、手紙
などをしてください」という発
言があり、全員、即実践を胸に
刻みました。

羅府新報

五月二十六日の羅府新報に子
供短歌コンクール表彰式の写真
と記事が大きく出ました。南加
で学ぶ小学生のみなさんから、
もつともつと応募が増えるとい
いですね。

春のほがい

五月一日、朝の集いで橋勝雄
会長が「春のほがい」の説明文
を読みあげました。会員全員、
丸山敏雄先生のお誕生日、五月

五日を「春のほがい」として祝
う意味を確認しました。

柏餅

門園美枝子さんはまだ未会員
の時に、滝川さんに連れられて
「丸山敏雄生誕百年祭」に参加
されました。そこで、丸山敏雄
先生とお父様が全く同じ日の生
まれだと知り、これもお父様が
導いてくれたご縁だと、倫理に
入会されました。そして、お父
様が誕生日の五月五日には必ず
従業員に柏餅を振舞っていたこ
とから、自分もその意思を受け
継ごうと、毎年、倫理の会の春
のほがいに柏餅を皆に配って
くださるようになりました。

母の日

五月八日(日) 女性会員にか
わいい着圧ソックスが配られま
した。会場係りの藤間富士子さ
んが母の日のお祝いと考えて
くれたものです。

男性会員から贈られた花束の
薔薇を一本づつ頂き、女性会員
は幸せをいっぱい家に持って帰
りました。着圧ソックスは履き
心地満点です。

一席お祝い

五月一日(日) しきなみ短歌
会歌会で、尾崎よしみさんが青
泉集の一席になったのをお祝い
しました。

尾崎さんが一席になったこと
は会員にとつてもとても嬉しい
ことです。天地集の滝川歌子さ
んが尾崎さんに感謝してお赤飯
を炊いてくださり、みんなの持
ち寄りでおいしいランチをいた
だきました

短歌を通して会員一同、和や
かな楽しい時間を過ごすことが
できました。

二世週祭

今年も七夕飾りと盆踊りに参
加します。尾崎普及部長がいろ
いろ連絡を取っています。

七夕飾りはデザインに知恵を
振り絞っています。

盆踊りはできる限り毎週、朝
の集いのあと、練習をします。盆
踊りは十曲以上ありますが、指
導の藤間さんが上手でとても楽
しいです。皆さんも参加してく
ださい。身体を動かすのは気持
ちがいいですよ。

おめでとーいございます

『しきなみ』六月号

群蛍集(西東京・海外)

二席 草野律子

認知症の始まり見せる姑の瞳が一年振りの
息子を捉える

評 施設に暮らすお姑様の表情を見逃さず捉
え、嬉しい時間を共有されました。

清泉集(中東京・海外)

三席 飯田隆

「元氣だよ」母の笑顔が目に映る電話の先
のわたしの宝

『秋津書道』六月号 競書

入選 滝川政和 芸術部(碧の部)

入選 長谷川公子 高等部 (東京)

入選 梅本豊造 々 々

九席 立川宏子 一般部(東京) 草書

一席 前田グレース 一般部(東京) 行書

四席 竹内康子 々 々

六席 脇山由希 々 々

一席 香山幸子 一般部(東京) 楷書

五席 小倉治望 々 々

七席 井上郷子 々 々

入選 兵頭真由美 々 々

入選 石岡美紀江 々 々

調和体

五席 滝川政和 芸術部(碧の部)

倫理成 都事業

1席 前田グレース

南カリフォルニア 前田グレース

さわやかに書かれて好感
を覚える作品です。

倫理成 都事業

4席 竹内 康子

南カリフォルニア 竹内康子

伸びやかに書かれました。

文化講演会の展示はお客様にとても
喜んで頂けました。よかったですね。
作品は全て倫理オフィスに飾りまし
た。ゆっくりご鑑賞ください。

しきなみ短歌

バレンタイン今さら何をともしもとこと
ん乗れば愛も新たに 武田ゆき
朝起きてスズメのえさを今日もまき何羽く
るのか窓から数える 与那覇寛雄

子等からの誕生カードにはほゆるめほろ酔い気
分の夫六十三歳 草野律子

字統開け漢字の起源読むたびに古代の人は芸術
家と思う 摺木洋子

満天の輝く星を見上げると亡き父の笑顔はつき
り見える 松元依子

石垣の向こうに咲ける桃の花我が家に春を運び
し花よ 滝川歌子

今在りて八十二年生かされて時を惜しみつつ一
日重ねる 杉野和子

友たちと唄う「嬉しいひなまつり」幼き心よみが
えりくる 長谷川公子

十八になっても子どもと言いつつひげを生やし
た六尺の息子 伊澤潤子

成人式振り袖似合う金髪に見た目は外人心は日
本 飯田隆

痛み持つ妻は補助具を使いつつ長き靴下上手に
はけり 梅本豊造

富有柿冬枯れの木に萌え出づるあまたの新芽春
の息吹よ 梅本和子

雅なる古代の雛に桃花そえ甘酒に華やぐ友との
集い 門園美枝子

三日間留守の我が家に帰り来て夫の手慣れのコ
ーヒー美味し ホン史子

生きている朝日の放つ光の矢まぶしく明く我身
を包む 松永典子

健康が一番良いのは毎日を楽しく過ごすいつも
笑顔で 尾崎よしみ

太陽は輝きおれど寒き日をカゲロウはまだ羽ば
たいており 甲斐靖幸